



荻川小だより

〒956-0011 新潟市秋葉区車場 922-1

電話 : 0250-25-2171 FAX : 0250-25-2172

<http://www.ogikawa.city-niigata.ed.jp/>

令和5年12月21日発行

先人の知恵

校長 平田 伸一



12月22日は冬至です。一年中で昼の時間が一番短く、夜の時間が一番長くなる日です。新潟市では日の出から日の入りまでの昼の長さが9時間36分、夜の長さが14時間24分。夜の時間がおよそ5時間、長いのです。

昔の人は冬至を一年の区切りとしてお祝いしたり、太陽に願い事をしたりしました。冬至を境にして昼の時間は少しずつ長くなっていきます。

冬至の日、ゆず湯に入る慣習があります。元々は身を清めて新しい年を迎える意味だったようです。また、冬至の日にはカボチャを食べると運がよくなるとも言われてきました。長く保存できる野菜のカボチャは、病気にならないための栄養がたっぷり入っていることが昔から知られていたからです。

このように昔からの言い伝えには、生活の知恵が詰まっています。塩、赤しそを使い、長期間保存できる梅干し。ほほえみ学級児童が今年も梅干しづくりに取り組みました。色鮮やかに柔らかくできあがった梅干しを自分たちで丁寧に袋詰め。

参観日にお店を開いて、保護者と教職員に販売してくれました。

年の暮れから正月にかけては大掃除、年越しそば、門松飾り、鏡餅、お雑煮やおせち料理、書き初めなど日本の伝統的な行事や慣習がたくさんあります。その一つ一つに先人の知恵があります。「どうしてこういうことをするのか」と調べたり大人に聞いてみたりすると、先人の知恵に感心することでしょう。

よい冬休みを過ごして、健やかに新年を迎えてください。

